

# 子育ての喜び、悩みを共有したい



創刊した「月刊お母さん業界新聞」の地域版を手にする  
母親たち

同新聞は、全国の母親たちでつくるネットワーク組織「お母さん大学」が2008年に創刊。約350人の「お母さん記」に参加した母親たちが、これまで佐賀では地域の編集に携わっている。そぞろ口で「伝えることがある」と

子育て中の県内の母親たちが「記者」となり、育児の喜びや悩みを発信する全国情報紙「月刊お母さん業界新聞」の地域版を創刊した。母親の視点に立ち、地域の情報を共有することで「子育てしやすい社会にしたい」とベンを軋つた。

(石田剛)

## お母さん業界新聞 地域版

## 佐賀、嬉野、みやき版 全国版と共に毎月無料配布

創刊を決意。佐賀市、嬉野市、みやき町に住む39歳の8人が1人1紙ずつ制作し、1日から各居住地の周辺地域で無料配布始めた。地域版はB4判1枚2ページすべて手書き。育児への思いをつづったエッセイ、お薦めの本、子どもの経験などが載った温かみあふれる作りだ。「インターネットには違う顔の見えるつながりを広げたい」と8人の代表で佐賀市高木瀬西の山下千春さん(36)は語る。今後は参加の輪を広げ、地域版の数を増やすとともに、ひとり親世帯や障害児のいる家庭などを多様な母親の情報発信を目指すという。山下さんは「育児の不安や悩みを一人で抱え込んでいる母親が多い。新聞で共感してもらえば虐待や不登校の解決にもつながるのではないか」と期待を込める。

新聞は毎月1日、全国版と一緒に小児科やスクールなど県内約20カ所で配布。問い合わせは山下さん=0952(30)4960。